

Japanese Utility Model Application Laid-Open No. 76879/1982  
(JP-U-57-76879)

What is claimed is:

A paint roller brush which comprises a tubular core member and an exchangeable brushing fabric, wherein the tubular core member is provided with a narrow guide projection (or protuberance) line having a triangle cross-section formed on the surface of the core member on the whole, the guide projection (or protuberance) line is continuously formed by spirally winding in one revolution from a base point at the left edge of the surface of the core member to a base point at the right edge of the surface of the core member, and a pressure-sensitive adhesive is applied to the inner surface of the cover member to be adhered to the surface of the core member by using the line as a guide, incidentally, a masking tape is tacked on the adhesive applied surface.

**HIS PAGE BLANK (USPTO)**

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭57—76879

⑤ Int. Cl.<sup>s</sup>  
B 05 C 17/02  
A 46 B 7/10

識別記号

庁内整理番号  
6766—4 F  
7634—3 B

④ 公開 昭和57年(1982)5月12日

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑭ 刷毛布を取換自在になし得る塗装ローラ刷毛

愛知県海部郡菰目寺町西今宿字  
山伏2—85

① 実 願 昭55—155180

⑦ 出 願 人 服部章平

② 出 願 昭55(1980)10月29日

愛知県海部郡菰目寺町西今宿字  
山伏2—85

③ 考 案 者 服部章平

⑯ 実用新案登録請求の範囲

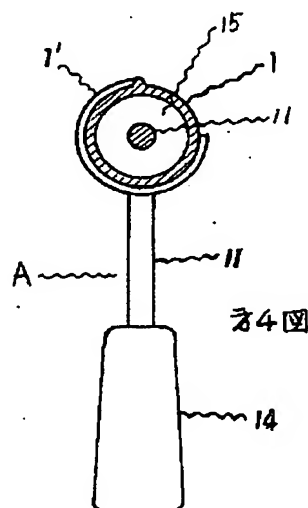
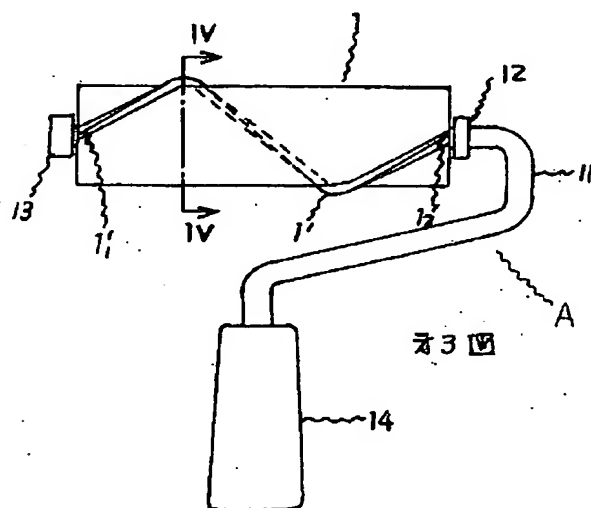
円筒基体の表面に、その表面の左端部基点から、軸方向同一線上に在る右端部基点までの間を、螺旋状に一回転させて、且、連続なるように、断面三角形形状の細い案内突起筋部を一体に設け、該案内突起筋部を案内として、この円筒基体の表面に貼り付けるべき刷毛布の裏面部に、感圧粘着剤を塗布し、尚、その粘着剤塗装表面部に、保護テープを仮着させた、刷毛布を取換自在になし得る塗装ローラ刷毛。

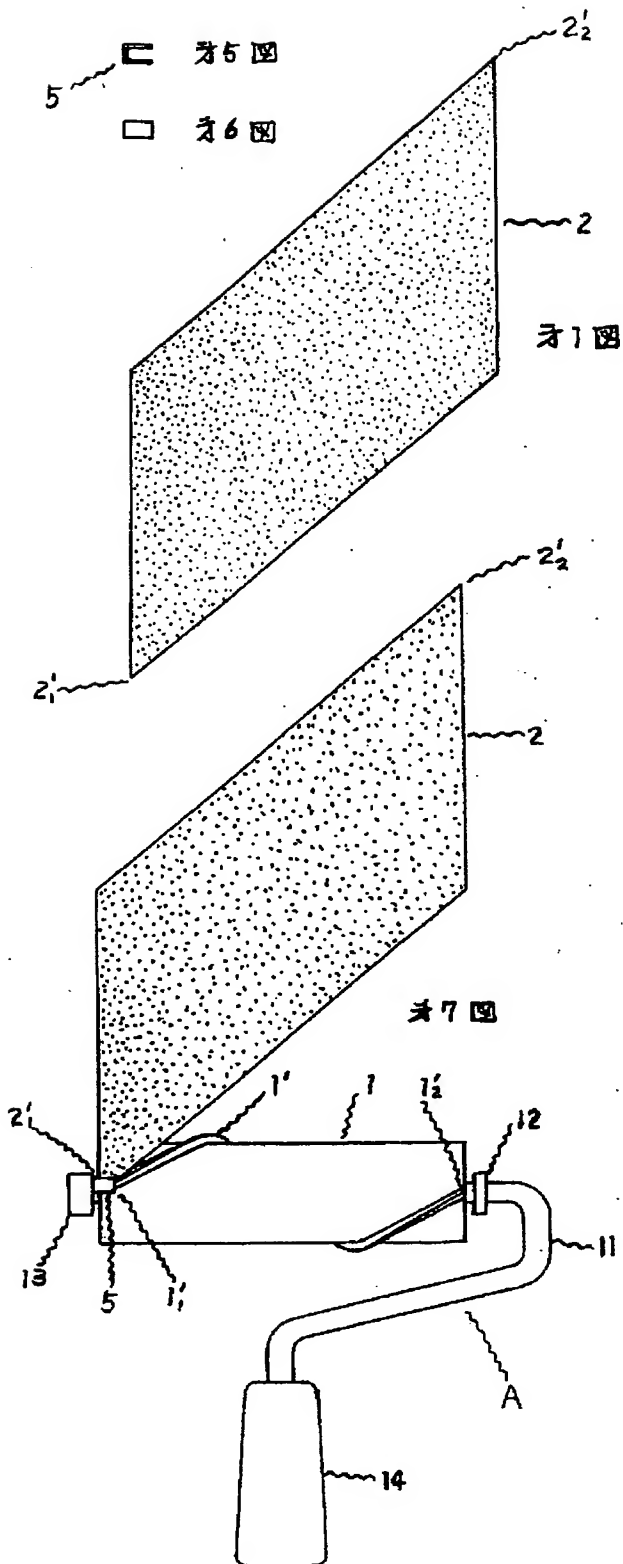
図面の簡単な説明

第1図は刷毛布の上面図、第2図はその側面図、第3図は刷毛本体の正面図、第4図はその側面図、

第5図は挟着金具の側面図、第6図はその下面図、第7図は刷毛布を円筒基体に貼り付ける手段を示す説明正面図、第8図はその説明側面図、第9図は刷毛布を円筒基体に貼り終った状態を示す正面図、第10図はその側面図、第11図は第9図のVI—VI線における切断断面図。

A…刷毛本体、1…円筒基体、1'…案内突起筋部、1<sub>1</sub>'…左端部突起基点、1<sub>2</sub>'…右端部突起基点、1<sub>3</sub>'…左端周縁部、2…刷毛布、2'…植毛布、2''…毛材、2<sub>1</sub>'…鋭角下端部、2<sub>2</sub>'…鋭角上端部、3…感圧粘着剤、4…保護テープ、5…挟着金具、11…腕軸、12及13…止め輪、14…把柄、15…軸受。







## 実用新案登録願 (4)

昭和55年10月29日

特許庁長官 島田 春 樹 殿

- ## 2. 考 案 者

フリガナ  
住所 (居所)

氏名フリガナ

実用新案登録出願人に同じ

- ### 3. 實用新案登録出願人

郵便番号

4 9 0 --- 1 1

アリガト

アイ キケン ア マゲン ジ モク ジ チョウニシイマシユクアザ ヤマブシ

住所(居所)愛知県海部郡甚目寺町西今宿字山伏2-85

フリガナ

(法人にあっては名称)  
(および代表者の氏名)

ハ  
服

ト  
部

シ  
 1

平



(國籍)

- #### 4. 代理人

郵便番号

□□□-□□

フリガナ

住所(居所)

フリガナ

氏名

- ## 5. 添付書類の目録

(1) 明細表

(2) ✓ [文]

### (3) 願書副本

(4) (

## 1 通

1 通

1 通

通)

55 155150

76879

## 明 細 書

考案の名称 刷毛布を取換自在になし得る塗装ローラ刷毛

### 実用新案登録請求の範囲

円筒基体の表面に、その表面の左端部基点から、軸方向同一線上に在る右端部基点までの間を、螺旋状に一回転させて、且、連続なるように、断面三角形形状の細い案内突起筋部を一体に設け、該案内突起筋部を案内として、この円筒基体の表面に貼り付けるべき刷毛布の裏面部に、感圧粘着剤を塗布し、尚、その粘着剤塗装表面部に、保護テープを仮着させた、刷毛布を取換自在になし得る塗装ローラ刷毛。

### 考案の詳細な説明

本考案は、塗装に使用するローラ刷毛において円筒基体表面に貼り付けてある刷毛布を簡単に取付け、取外しが出来得るようにした塗装ローラ刷毛の改良に関するものである。

従来の塗装ローラ刷毛においては、刷毛布をローラ円筒基体の表面に貼り付ける際、時間が経

ては乾燥硬化する接着剤等を使用した、半永久的完全接着法を採用しておったので、若し刷毛布表面毛材部が摩耗損傷し、塗装作業に耐えられなくなった場合、刷毛布、円筒基体諸共に交換しなければならなかった。

しかるに、ローラ刷毛罐原価中に占める円筒基体関係費の率が相当に高く、それ故に、刷毛布と円筒基体を同時に交換しなければならない使用者にあっては、常に無駄な代価を先払っていた訳である。それに、未だ使用に耐え得る円筒基体が無為に廃棄することは、最近盛に呼囑されるようになった資源愛護論にも逆行する所以ともなるものである。

本考案は、円筒基体は元のままの物を再使用し、刷毛布のみを貼り替えるだけで、新品同様の塗装効果を発揮し得るようにした、刷毛布を取換自在になし得る塗装ローラ刷毛に係るものであり、その実施例を図面と共に説明する。

第1図及び第2図において、2は刷毛布である。そして2'は植毛布、2''は植毛布2'の表面部

に植毛された毛材、3は植毛布2'の裏面部に塗装された感圧粘着剤、4は塗装した粘着剤3の表面部に仮着させた保護テープである。

第3図及び第4図において、Aはローラ刷毛本体である。そして1は円筒基体で、軸11の周りに、軸受15を介して、回転自在に保持されている。円筒基体1の表面には、断面三角形状の案内突起筋部1'が、円筒基体1の左端部突起基点1<sub>1</sub>'より螺旋状に螺旋左廻り1回転して、右端部突起基点1<sub>2</sub>'に到達するように一体に設けられている。12及び18は止輪、14は把柄である。第5図及び第6図における5は、コノ字形をなす挟着金具である。

次に、刷毛布2を円筒基体1の表面に貼り付ける手段について述べれば、即ち、第7図及び第8図は、円筒基体1の左端部突起基点1<sub>1</sub>'に、予め保護テープ4を剥がしておいた、刷毛布2の鋭角下端部2<sub>1</sub>'を当てがい、手で圧下して裏面の粘着剤3の粘着力により貼り付けられ、そして下端部2<sub>1</sub>'が容易に脱剥しないように、下端部2<sub>1</sub>'と円筒基体



1の左端周縁部1<sub>0</sub>とにまたがるように、挟着金具5で挟着した状態を示すものである。

そして、円筒基体1を手前側に回転させながら、刷毛布2を、突起筋部1'を案内として貼り付け作業を続行し、鋭角上端部2<sub>2</sub>のところで貼り付け作業は終了し、下端部2<sub>1</sub>の時と同じく挟着金具5で、この部を挟着した状態を示すものが第9回～第11図である。

そして刷毛布2の貼着終了后、手で刷毛布2を充分に押えておけば、粘着剤8の粘着力により簡単に脱剥することはない。

上記した如く、塗装ローラ刷毛において、刷毛布を簡単に取換自在になし得ることで、ローラ円筒基体の連続使用が可能になるから、ローラ刷毛総原価中より、ローラ円筒基体関係費を差引くことが出来るので、使用者にはその分だけ安価なローラ刷毛を提供出来得るし、又、資源保護運動の激しい折柄、その趣旨にも寄与するのは勿論、更に又、刷毛布だけのものと、ローラ刷毛全体のものとでは、空間に占めるスペースに相当なる差

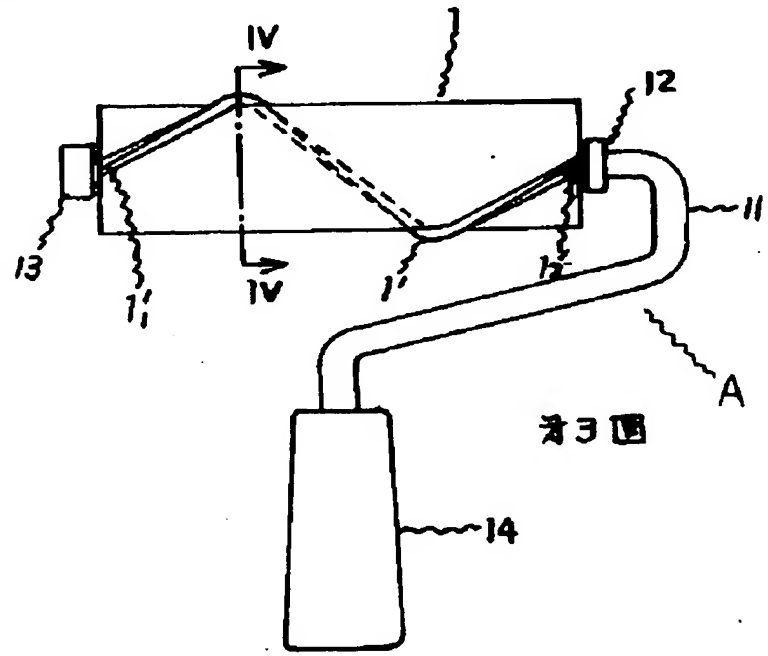
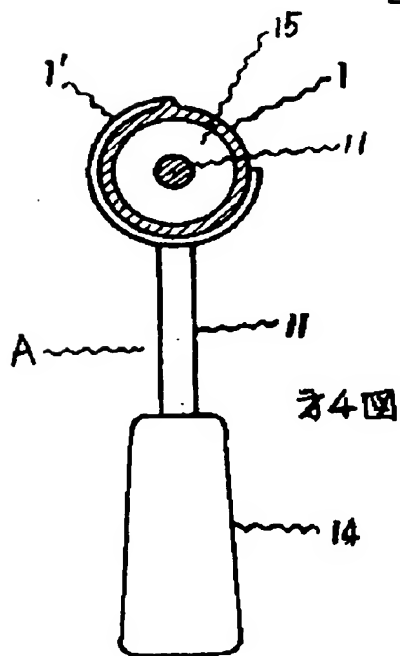
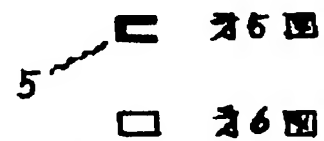
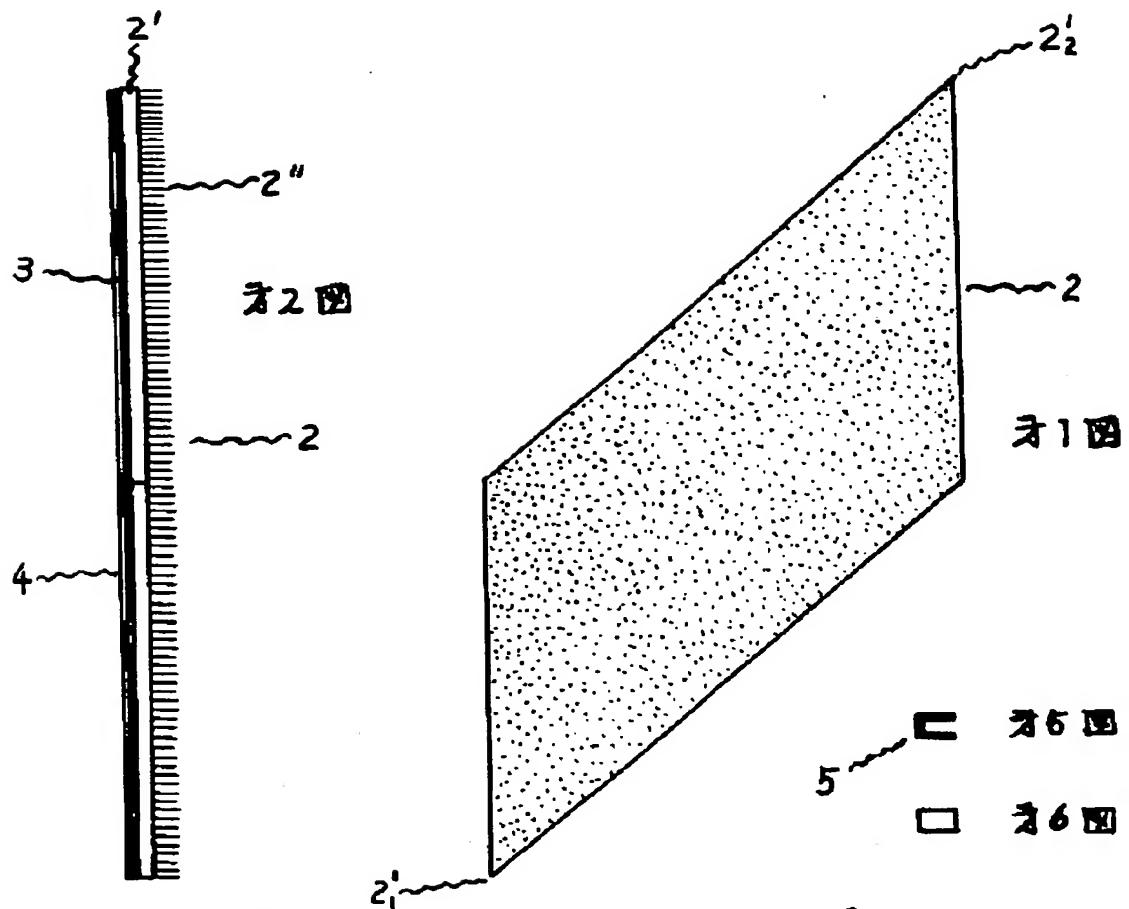
があり、従って、輸送と店頭陳列の合理化が出来得る点等に新規なる効果と特徴を有するものである。

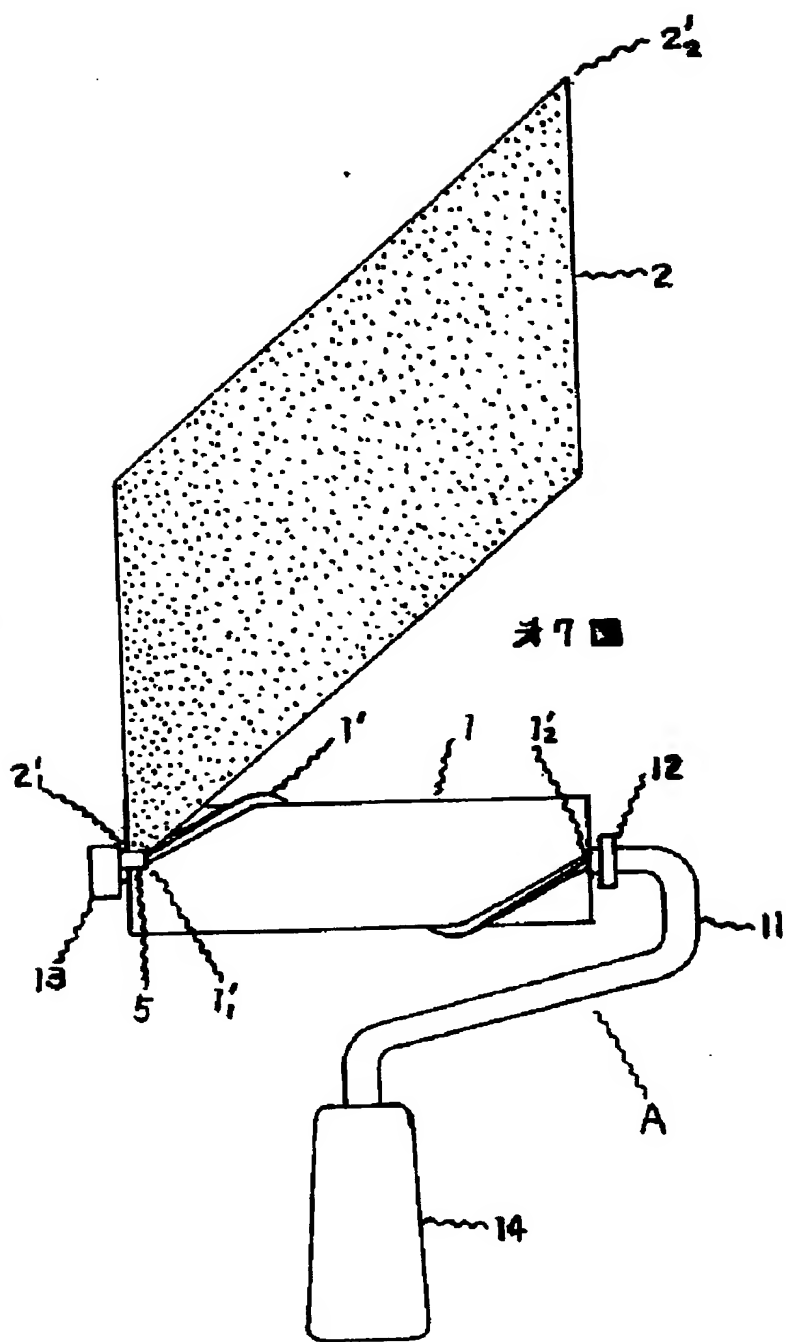
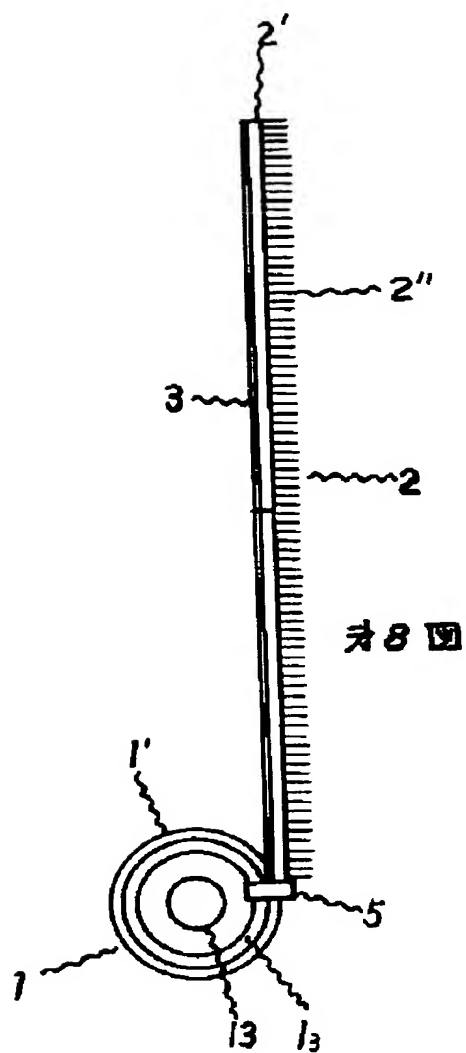
#### 図面の簡単な説明

第1図は刷毛布の上面図、第2図はその側面図、第3図は刷毛本体の正面図、第4図はその側面図、第5図は挟着金具の側面図、第6図はその下面図、第7図は刷毛布を円筒基体に貼り付ける手段を示す説明正面図、第8図はその説明側面図、第9図は刷毛布を円筒基体に貼り終った状態を示す正面図、第10図はその側面図、第11図は第9図のV1-V1線における切断断面図。

A…刷毛本体、1…円筒基体、1'…案内突起筋部、1<sub>1</sub>…左端部突起基点、1<sub>2</sub>…右端部突起基点、1<sub>3</sub>…左端周縁部、2…刷毛布、2'…植毛布、2<sub>1</sub>…毛材、2<sub>1</sub>'…鋭角下端部、2<sub>2</sub>'…鋭角上端部、3…感圧粘着剤、4…保護テープ、5…挟着金具、11…腕軸、12及13…止め輪、14…把柄、15…軸受。

実用新案登録出願人 服部章平





76879  $\frac{2}{3}$

實用新案登錄出願人 服部章平

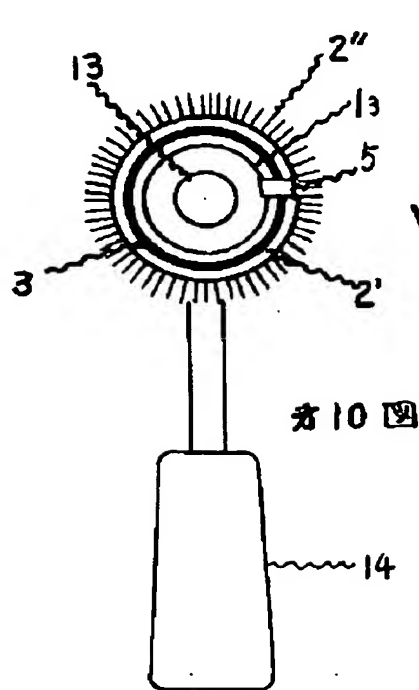


図 10

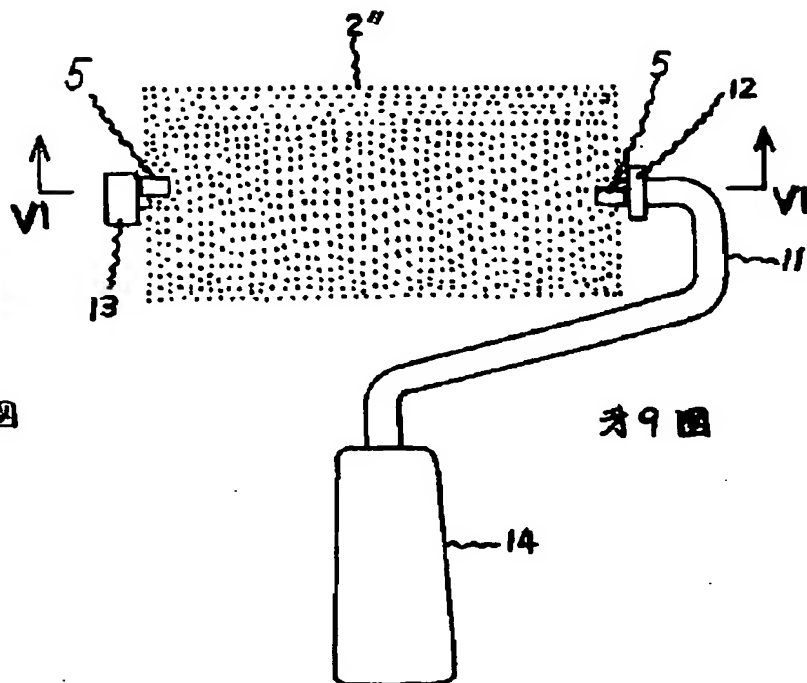


図 9

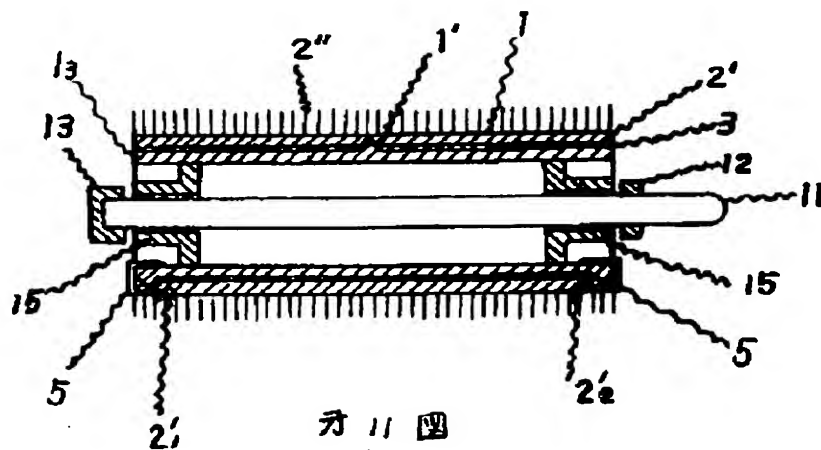


図 11

76879 2/3

實用新案登録出願人 服部章平

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record.**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**